



Informatica® Application Integration
Fall 2020 October

IICS API バージョン V2 コ ネクタガイド

Informatica Application Integration IICS API バージョン V2 コネクタガイド
Fall 2020 October
2020 年 10 月

© 著作権 Informatica LLC 1993, 2021

発行日: 2021-03-11

目次

序文.....	4
第 1 章 : IICS API バージョン V2 コネクタの概要.....	5
IICS API バージョン V2 コネクタの概要.....	5
第 2 章 : IICS API バージョン V2 接続.....	6
IICS API バージョン V2 接続の概要.....	6
基本的な接続プロパティ.....	6
IICS API バージョン V2 接続プロパティ.....	7
第 3 章 : IICS API バージョン V2 コネクタのプロセス.....	8
IICS API バージョン V2 コネクタのサービス.....	8
エージェントサービス.....	8
監査サービス.....	9
認証サービス.....	9
接続サービス.....	9
データプレビューサービス.....	10
DNB ワークフローサービス.....	10
フィールドサービス.....	11
ファイルレコードサービス.....	11
ジョブサービス.....	12
マッピングサービス.....	12
マップレットサービス.....	13
マスターテンプレートサービス.....	14
モニタサービス.....	14
組織サービス.....	14
ランタイム環境サービス.....	15
Salesforce サービス.....	15
サーバー時間サービス.....	15
タスクサービス.....	15
ワークフローサービス.....	16
IICS API バージョン V2 コネクタを使用したプロセスの例.....	17
索引.....	18

序文

アプリケーションの統合用 IICS API バージョン V2 コネクタガイドを読み、Informatica Intelligent Cloud Services REST API を使用して接続を設定および使用する方法を学習します。

このガイドは、Informatica Intelligent Cloud Services REST API と、アプリケーションの統合を使用したサービス呼び出しを定義する方法に習熟していることが前提です。

第 1 章

IICS API バージョン V2 コネクタの概要

- [IICS API バージョン V2 コネクタの概要, 5 ページ](#)

IICS API バージョン V2 コネクタの概要

アプリケーションの統合を使用すると、公開された API を使用して、Informatica Cloud (R) 内、ファイアウォールの内側、またはクラウド内の任意の場所にあるプログラムおよびサービスとのやり取りが可能になります。

公開済み API にアクセスするには、Process Designer でサービスコネクタを作成します。次にこれらのサービスコネクタを使用して、プロセスで使用するサービスに関連付けられたパラメータとアクションを指定します。

IICS API バージョン V2 コネクタは、REST API を使用して Informatica Cloud に関連付けられたパラメータやアクションにアクセスできるようにするサービスコネクタです。IICS API バージョン V2 接続を作成し、プロセス内のサービス呼び出しを設定することにより、Informatica Cloud によって公開されたサービスにアクセスできます。

IICS API バージョン V2 コネクタは顧客による使用のライセンスがすでにあります。使用するライセンスを購入する必要はありません。

第 2 章

IICS API バージョン V2 接続

この章では、以下の項目について説明します。

- [IICS API バージョン V2 接続の概要, 6 ページ](#)
- [基本的な接続プロパティ, 6 ページ](#)
- [IICS API バージョン V2 接続プロパティ, 7 ページ](#)

IICS API バージョン V2 接続の概要

IICS API バージョン V2 接続を作成して、マッピングタスクを作成、実行、監視することができます。

IICS API バージョン V2 接続を作成後、接続を検証および保存することができます。

次に、IICS API バージョン V2 接続をパブリッシュして、**【メタデータ】** タブをクリックし、接続用に生成されたプロセスオブジェクトを表示することができます。

基本的な接続プロパティ

次の表に、接続の作成ページの**【プロパティ】** タブで使用可能な基本プロパティを示します。

プロパティ	説明
名前	必須。Process Designer で識別するための、IICS API バージョン V2 接続の一意の名前。名前はアルファベットで始まり、アルファベット、数値、ハイフン (-) のみを含めることができます。
場所	オプション。接続を保存するプロジェクトまたはフォルダの場所。 【参照】 をクリックして場所を選択します。 [Explore (参照)] ページが現在アクティブになっている、プロジェクトまたはフォルダが選択されている場合、接続のデフォルトの場所はその選択されているプロジェクトまたはフォルダです。そうでない場合、デフォルトの場所は直近で保存されたアセットの場所です。
説明	オプション。接続の説明。
タイプ	必須。コネクタまたはサービスコネクタに使用する接続のタイプ。 【IICS API バージョン V2 (使用ライセンスあり)】 を選択します。

プロパティ	説明
曜日の指定	必須。この接続を実行する必要があるクラウドサーバーまたは Secure Agent マシン。
接続テスト	IICS API バージョン V2 コネクタではサポートされていません。
OData 対応	IICS API バージョン V2 コネクタではサポートされていません。

これらの基本プロパティと一緒に使用する場合、IICS API バージョン V2 接続タイプに適用できるプロパティを定義する必要があります。

IICS API バージョン V2 接続プロパティ

次の表では、**[接続プロパティ]** セクションで設定する必要がある IICS API バージョン V2 接続のプロパティを定義しています。

プロパティ	説明
IcsLoginUrl	必須。Informatica Intelligent Cloud Services にログインする URL。 次の形式で URL を指定します。 <code>https://<podname>.informaticacloud.com/ma</code> 例えば、次の URL を入力します。 <code>https://dm-us.informaticacloud.com/ma</code>
ユーザー名	必須。Informatica Intelligent Cloud Services の URL にログインするユーザー名。ユーザー名は通常、電子メールアドレスです。
パスワード	必須。ユーザー名に関連付けられたパスワード。

第 3 章

IICS API バージョン V2 コネクタのプロセス

この章では、以下の項目について説明します。

- [IICS API バージョン V2 コネクタのサービス, 8 ページ](#)
- [IICS API バージョン V2 コネクタを使用したプロセスの例, 17 ページ](#)

IICS API バージョン V2 コネクタのサービス

IICS API バージョン V2 コネクタは REST API を使用して、次に示すサービスを通じて Informatica Cloud 内のプログラムとアクティビティにアクセスし、各種のタスクを実行します。

Informatica Cloud で実行できるアクティビティは、プロセスのサービスのステップで設定可能なサービスとして一覧表示されます。サービスを設定するには、サービスに必要な入力フィールドを特定して渡す必要があります。サービス出力を使用して、プロセスのその他のステップを実行することもできます。

重要: プロセスを作成するときは、開始マイルストーン後の最初のステップとしてログインサービスを使用し、終了マイルストーン前の最後のステップとしてログアウトまたはすべてログアウトを使用する必要があります。

エージェントサービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、Secure Agent の詳細を取得します。Secure Agent ごとに、名前、ID、ホスト名などのエージェントの詳細を表示できます。

以下の表に、エージェントサービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
エージェントの取得	指定したエージェント ID に基づいて Secure Agent の詳細を取得します。
エージェントの一覧表示	組織内のすべての Secure Agent のリストを取得します。

監査サービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、監査ログを取得します。

監査ログの取得サービスを選択し、監査ログを表示します。監査ログは、ログイン、作成、更新、削除操作など、ユーザーの操作を追跡します。

次の入力および出力フィールドを表示できます。

入力フィールド

- 監査ログエントリの特定のバッチの詳細を取得するために使用するバッチ ID。
- 監査ログエントリの詳細を取得するためのバッチサイズ。

出力フィールド

AuditLogResults プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、ID、ユーザー名、オブジェクト名、エントリ時間など、ログの詳細が含まれています。

認証サービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、認証タスクを実行します。

以下の表に、認証サービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
ログイン	IICS API バージョン V2 接続に指定されたユーザー名とパスワードを使用して Informatica Cloud にログインします。
ログアウト	Informatica Cloud からログアウトします。
すべてログアウト	組織からログアウトして、リクエスト内のユーザーのすべての REST API セッションを終了します。

重要: プロセスでは、開始マイルストーン後の最初のステップとしてログインサービスを使用し、終了マイルストーン前の最後のステップとしてログアウトまたはすべてログアウトを使用する必要があります。

接続サービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、接続の詳細を取得します。各接続の名前、説明、接続を利用できるエージェントなど、接続の詳細を表示できます。

以下の表に、接続サービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
接続の取得	指定した接続 ID に基づいて接続の詳細を取得します。
接続の一覧表示	組織内のすべての接続のリストを取得します。

データプレビューサービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、データプレビュータスクを実行します。

マッピングを設計するときに、データプレビューサービスを選択してデータをプレビューします。オブジェクトタイプ（ソースまたはターゲット）、オブジェクト名、接続 ID を指定すると、オブジェクトのデータ型と値をプレビューできます。

入力フィールド

- タイプ。ソースまたはターゲットを指定できます。
- オブジェクト名
- 接続 ID

出力フィールド

DataPreview プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、フィールド接続 ID、オブジェクト名、フィールド名が含まれています。このプロセスオブジェクトには、タイプと値のフィールドを含む Data プロセスオブジェクトも含まれています。

DNB ワークフローサービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、DNB ワークフロータスクを実行します。

以下の表に、DNB ワークフローサービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
DNB360 ワークフローの作成	DNB360 ワークフローを作成します。
DNB360 ワークフローの削除	ワークフロー ID に基づき DNB360 ワークフローを削除します。
DNB360 ワークフローの取得	ワークフロー ID に基づいて DNB360 ワークフローの詳細を取得します。
DNB360 ワークフローの一覧表示	すべての DNB360 ワークフローの詳細を取得します。
DNB360 ワークフローの更新	ワークフロー ID に基づき DNB360 ワークフローを更新します。

フィールドサービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、オブジェクトのフィールドの詳細を表示します。

以下の表に、フィールドサービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
ソースフィールドの取得	<p>ソースオブジェクトのフィールドの詳細を取得します。ソース接続 ID およびオブジェクト名を指定して、フィールドの詳細を表示します。</p> <p>入力フィールド</p> <ul style="list-style-type: none">- ソースの接続 ID。- ソースオブジェクト名。 <p>出力フィールド</p> <p>Field プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、フィールド名、データ型、精度、およびスケールなどのフィールドの詳細が含まれています。</p>
ターゲットフィールドの取得	<p>ターゲットオブジェクトのフィールドの詳細を取得します。ターゲット接続 ID およびオブジェクト名を指定して、フィールドの詳細を表示します。</p> <p>入力フィールド</p> <ul style="list-style-type: none">- ターゲットの接続 ID。- ターゲットオブジェクト名。 <p>出力フィールド</p> <p>Field プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、フィールド名、データ型、精度、およびスケールなどのフィールドの詳細が含まれています。</p>

ファイルレコードサービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Intelligent Cloud Services に接続し、ファイルをアップロードまたは削除します。

以下の表に、ファイルレコードサービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
ファイルレコードの作成	<p>統合テンプレート XML ファイルまたはイメージファイルを組織にアップロードします。ファイルは、バイナリ形式および UTF-8 エンコーディングを使用してアップロードできます。</p> <p>入力フィールド</p> <ul style="list-style-type: none">- 添付ファイルとしてのファイル。- ファイルタイプ。マッピングまたはイメージを指定できます。 <p>出力フィールド</p> <p>FileRecord プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、名前、タイプ、添付ファイルのタイプ、更新日時など、ファイルレコードの詳細が含まれています。</p>
ファイルレコードの削除	<p>ファイル ID に基づき、組織から統合テンプレート XML ファイルまたはイメージファイルを削除します。</p>

ジョブサービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、Informatica Cloud 内のタスクを開始または定義します。

以下の表に、ジョブサービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
ジョブの開始	タスクタイプ、タスク ID、またはタスク名に基づいて、Informatica Cloud 内のタスクを開始します。 入力フィールド <ul style="list-style-type: none">- タスク ID- タスクタイプ。既存のリストから選択できます。- タスク名 出力フィールド <ul style="list-style-type: none">- Job プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、ID、名前、タイプ、コールバック URL など、タスクの詳細が含まれています。- ステータス
ジョブの停止	タスクタイプ、タスク ID、またはタスク名に基づいて、Informatica Cloud 内のタスクを停止します。 入力フィールド <ul style="list-style-type: none">- タスク ID- タスクタイプ。既存のリストから選択できます。- タスク名 出力フィールド <ul style="list-style-type: none">- Job プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、ID、名前、タイプ、コールバック URL など、タスクの詳細が含まれています。- ステータス

マッピングサービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Intelligent Cloud Services に接続し、マッピングの詳細を取得します。マッピングごとに、ID、名前、およびマッピングを利用できるエージェントホストなどの詳細を表示できます。

以下の表にマッピングサービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
マッピングの取得	指定したマッピング ID に基づいてマッピングの詳細を取得します。
マッピングの一覧表示	組織内のすべてのマッピングのリストを取得します。

マップレットサービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、マップレット固有のタスクを実行します。

以下の表に、マップレットサービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
マップレットの作成	<p>アップロード可能なマップレット XML ファイル、指定したマップレット名と説明に基づいてマップレットを作成します。</p> <p>入力フィールド</p> <ul style="list-style-type: none">- 添付ファイルとしてのファイル。ファイルはバイナリ形式で UTF-8 エンコーディングを使用している必要があります。- マップレット名- マップレットの説明。 <p>出力フィールド</p> <ul style="list-style-type: none">- Mapplet プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、名前、ID、作成時刻、組織 ID などのマップレットの詳細が含まれています。- ステータス
マップレットの削除	<p>マップレット ID に基づいてマップレットを削除します。</p>
マップレットの取得	<p>マップレット ID に基づいてマップレットの詳細を取得します。</p> <p>入力フィールド</p> <ul style="list-style-type: none">- マップレット ID。 <p>出力フィールド</p> <ul style="list-style-type: none">- Mapplet プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、名前、ID、作成時刻、組織 ID などのマップレットの詳細が含まれています。- ステータス
マップレットの一覧表示	<p>組織内のすべてのマップレットのリストを取得します。名前、ID、作成時刻、組織 ID などのマップレットの詳細が表示できます。</p>
マップレットの更新	<p>マップレット ID に基づいてマップレットを更新します。マップレット XML ファイル、名前、または説明を更新できます。</p> <p>入力フィールド</p> <ul style="list-style-type: none">- 添付ファイルとしてのファイル。ファイルはバイナリ形式で UTF-8 エンコーディングを使用している必要があります。- マップレット名- マップレットの説明。- マップレット ID。 <p>出力フィールド</p> <ul style="list-style-type: none">- Mapplet プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、名前、ID、作成時刻、組織 ID などのマップレットの詳細が含まれています。- ステータス

マスターテンプレートサービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、統合テンプレートを表示または削除します。

以下の表に、マスターテンプレートサービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
統合テンプレートの削除	統合テンプレート ID に基づいて統合テンプレートを削除します。
統合テンプレートの取得	統合テンプレート ID に基づき、統合テンプレートの詳細を取得します。
統合テンプレートの一覧表示	組織内のすべての統合テンプレートのリストを取得します。

モニタサービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、Informatica Cloud アクティビティの詳細を表示します。

以下の表に、モニタサービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
アクティビティモニタ	Informatica Cloud で実行中のアクティブなタスクに関する詳細を取得します。
アクティビティログの取得	ランタイム環境で現在実行中のすべてのタスクのログの詳細を取得します。返される最大行数を指定できます。 入力フィールド 行制限 出力フィールド Activity log results プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、失敗したソース行、成功したソース行、ランタイム環境 ID、エージェント ID などのアクティビティの詳細が含まれています。
エラーログの取得	アクティビティログ ID に基づいて特定のアクティビティのエラーログを取得します。エラーログを添付ファイルとして表示することもできます。

組織サービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、組織の詳細を取得します。

以下の表に、組織サービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
組織の取得	Informatica Cloud 組織の詳細を取得します。
サブ組織の取得	サブ組織 ID に基づいて、組織に関連するサブ組織の詳細を取得します。

ランタイム環境サービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、ランタイム環境の詳細を取得します。

組織のランタイム環境の詳細を取得するには、ランタイム環境の取得サービスを選択します。

Salesforce サービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、Salesforce のバージョンの詳細を取得します。

Informatica Cloud で使用される Salesforce のバージョンの詳細を取得するには、Salesforce のバージョンの取得サービスを選択します。

サーバー時間サービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、タイムスタンプの詳細を取得します。

Informatica Cloud サーバーでローカル時間を表示するには、サーバー時間サービスを選択します。

タスクサービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、タスクを実行します。

以下の表に、タスクサービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
マッピングの作成	<p>マッピングタスクを作成します。マッピング名、エージェント ID、マッピング ID を指定すると、マッピングタスクを作成できます。または、タスクのパラメータの詳細を指定できます。</p> <p>入力フィールド</p> <p>CreateMappingTaskRequest プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、マッピング名、エージェント ID、マッピング ID、Parameter プロセスオブジェクトが含まれています。</p> <p>出力フィールド</p> <ul style="list-style-type: none">- MappingConfigTask プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、マッピング ID、エージェント ID、ランタイム環境 ID などのフィールドの詳細が含まれています。- ステータス
マッピングの削除	タスク ID に基づいて、マッピングタスクを削除します。
マッピングの取得	タスク ID に基づいて、マッピングタスクの詳細を取得します。マッピング ID、エージェント ID、ランタイム環境 ID などのマッピングの詳細を表示できます。

サービス名	このサービスを選択する目的
マッピングタスクの一覧表示	<p>統合テンプレートを使用するすべてのマッピングタスクのリストを取得します。統合テンプレートの ID を指定すると、タスクのリストを取得できます。</p> <p>入力フィールド</p> <p>統合テンプレート ID</p> <p>出力フィールド</p> <p>MappingConfigTask プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、マッピング ID、エージェント ID、ランタイム環境 ID などのフィールドの詳細が含まれています。</p>
タスクの一覧表示	<p>組織内のタスクの詳細を要求します。リストは、マッピング、同期、ワークフロータスクなどのタスクタイプに基づいてフィルタ処理できます。名前、タイプ、説明などのタスクの詳細を表示できます。</p>

ワークフローサービス

アプリケーションの統合では、IICS API バージョン V2 接続の URL とセッション ID を使用して Informatica Cloud に接続し、ワークフロータスクを実行します。

以下の表に、ワークフローサービスを示します。

サービス名	このサービスを選択する目的
タスクフローの作成	<p>タスクフローを作成します。</p> <p>入力フィールド</p> <p>Taskflow プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、組織 ID、作成者、説明などのフィールドが含まれています。このプロセスオブジェクトには、SuccessTaskEmail、WarningTaskEmail、ErrorTaskEmail などのその他のプロセスオブジェクトも含まれています。</p> <p>出力フィールド</p> <ul style="list-style-type: none"> - Taskflow プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、組織 ID、作成者、説明などのフィールドが含まれています。このプロセスオブジェクトには、SuccessTaskEmail、WarningTaskEmail、ErrorTaskEmail などのその他のプロセスオブジェクトも含まれています。 - ステータス
タスクフローの削除	<p>タスクフロー ID に基づいてタスクフローを削除します。</p>
タスクフローの取得	<p>タスクフロー ID に基づき、タスクフローの詳細を要求します。Taskflow プロセスオブジェクトは出力フィールドです。</p>

サービス名	このサービスを選択する目的
タスクフローの一覧表示	組織内のすべてのタスクフローの詳細を要求します。Taskflow プロセスオブジェクトは出力フィールドです。
タスクフローの更新	<p>既存のタスクフローを更新します。</p> <p>入力フィールド</p> <ul style="list-style-type: none"> - タスクフロー ID - Taskflow プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、組織 ID、作成者、説明などのフィールドが含まれています。このプロセスオブジェクトには、SuccessTaskEmail、WarningTaskEmail、ErrorTaskEmail などのその他のプロセスオブジェクトも含まれています。 <p>出力フィールド</p> <ul style="list-style-type: none"> - Taskflow プロセスオブジェクト。このプロセスオブジェクトには、組織 ID、作成者、説明などのフィールドが含まれています。このプロセスオブジェクトには、SuccessTaskEmail、WarningTaskEmail、ErrorTaskEmail などのその他のプロセスオブジェクトも含まれています。 - ステータス

IICS API バージョン V2 コネクタを使用したプロセスの例

アプリケーションの統合プロセスを作成すると、Informatica Cloud でマッピングタスクを作成できます。

Secure Agent のエージェント ID とマッピングタスクで使用するマッピングのマッピング ID を指定できます。また、IICS API バージョン V2 コネクタで利用できるその他のサービスをマッピングタスクプロセスのオーケストレーションに使用することもできます。

例えば、次のタスクを実行してマッピングタスクを作成できます。

1. IICS API バージョン V2 接続を作成して Informatica Cloud に接続します。
2. プロセスを作成してログインサービスを設定し、Informatica Cloud にログインします。
3. エージェントの一覧表示サービスを設定して、組織内のすべてのエージェントを取得します。
4. データディシジョンステップを設定して、タスクを実行する Secure Agent のエージェント ID を取得します。
5. マッピングの一覧表示サービスを設定して、組織内のすべてのマッピングのリストを取得します。
6. データディシジョンステップを設定して、タスクで使用するマッピングのマッピング ID を取得します。
7. マッピング ID とエージェント ID をマッピング設定タスクの作成サービスに渡します。
8. ログアウトサービスを設定し、Informatica Cloud からログアウトします。
9. プロセスを保存してパブリッシュし、実行します。

マッピング設定タスクの作成サービスでは、エージェント ID とマッピング ID を使用してマッピング設定タスクを作成します。

索引

D

DNB ワークフロー
サービス [10](#)

I

IICS API バージョン V2 コネクタ
サービス [8](#)
概要 [5](#)
例 [17](#)
IICS API バージョン V2 接続
プロパティ [7](#)
基本プロパティ [6](#)

S

Salesforce
サービス [15](#)

え

エージェント
サービス [8](#)

さ

サーバー時間
サービス [15](#)
サービス
DNB360 ワークフローの一覧表示 [10](#)
DNB360 ワークフローの更新 [10](#)
DNB360 ワークフローの作成 [10](#)
DNB360 ワークフローの削除 [10](#)
DNB360 ワークフローの取得 [10](#)
Salesforce のバージョンの取得 [15](#)
アクティビティ モニタ [14](#)
アクティビティ ログの取得 [14](#)
エージェントの一覧表示 [8](#)
エージェントの取得 [8](#)
エラー ログの取得 [14](#)
サーバー時間 [15](#)
サブ組織の取得 [14](#)
ジョブの開始 [12](#)
ジョブの停止 [12](#)
すべて ログアウト [9](#)
ソースフィールドの取得 [11](#)
ターゲットフィールドの取得 [11](#)
タスクの一覧表示 [15](#)
タスクフローの一覧表示 [16](#)
タスクフローの更新 [16](#)
タスクフローの作成 [16](#)

サービス (続く)

タスクフローの削除 [16](#)
タスクフローの取得 [16](#)
データプレビュー [10](#)
ファイルレコードの作成 [11](#)
ファイルレコードの削除 [11](#)
マッピングタスクの作成 [15](#)
マッピングタスクの削除 [15](#)
マッピングタスクの取得 [15](#)
マッピングの一覧表示 [12](#)
マッピングの取得 [12](#)
マッピング設定タスクの一覧表示 [15](#)
マップレットの一覧表示 [13](#)
マップレットの更新 [13](#)
マップレットの作成 [13](#)
マップレットの削除 [13](#)
マップレットの取得 [13](#)
ランタイム環境の取得 [15](#)
ログアウト [9](#)
ログイン [9](#)
監査ログの取得 [9](#)
接続の一覧表示 [9](#)
接続の取得 [9](#)
組織の取得 [14](#)
統合テンプレートの一覧表示 [14](#)
統合テンプレートの削除 [14](#)
統合テンプレートの取得 [14](#)

し

ジョブ
サービス [12](#)

た

タスク
サービス [15](#)

て

データプレビュー
サービス [10](#)

ふ

ファイルレコード
サービス [11](#)
フィールド
サービス [11](#)

ま

マスターテンプレート

サービス [14](#)

マッピング

サービス [12](#)

マップレット

サービス [13](#)

も

モニタ

サービス [14](#)

ら

ランタイム環境

サービス [15](#)

わ

ワークフロー

サービス [16](#)